

2019年11月17日(日)朝10:10～
11月第3共同主日礼拝式説教

主の降誕前第6、自由交歓会等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**天の父は、わが父**(32節)

聖書:マタイ 10章32～33節

<口語訳>

新約聖書16～ 頁

マタイ 10章32～33節

<新共同訳>

新約聖書18～ 頁

マタイ 10章32～33節

<新改訳第3版>

新約聖書19～ 頁

マタイ 10章32～33節

<塚本訳>

新約聖書95～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ10:23～33**は、先週の**マタイ10:26～31**の続きで、「**天の父は、わが父**」で、新共同訳のタイトルにしている「**イエスの仲間であると言い表す**」と語られている箇所です。

⇒**使徒(弟子)たちは、「天の父なる神の仲間」**で、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**天の父なる神**」を信頼されると同じ信頼をもって弟子たちを福音宣教の仲間と認めておられるということです。

⇒「**地上の仲間**」(**神の教会**)は、「**天においても仲間**」(**神の国の民**)です。主の宣教命令を**使徒マタイ**は、世界宣教(**マタイ28:19、20**)と受けとめて**マタイ福音書**を認めているのです。

⇒相互信頼は、「**神礼拝の心**」の共有からです。

本論；

◇本日、**マタイ書10章32～33節**から主の**使信**に**思い・心** *vous*をとめます。

◆**マタイ10章32～33節**；**使徒マタイ**は、**天の父と地上の父**が、「**同じ**」であることを主の仲間とされていることを**礼拝の心**で知るように導かれました。

◇**26～33節**；**塚本訳◆恐れずに説け**

「32 それだから(恐れずに説け。)だれでも人の前で(公然)わたしを(主と)告白するものを、わたしも(裁きの日に)、わたしの天の父上の前で(弟子として)認める。

33 しかしだれでも人の前でわたしを否定する者を、わたしも天の父上の前で否認するであろう。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**32～33節**；「それだから」、「(恐れずに説け。)だれでも人の前で(公然)わたしを(主と)告白するものを、わたしも(裁きの日に)、わたしの天の父上の前で(弟子として)認める」、「しかしだれでも人の前でわたしを否定する者を、わたしも天の父上の前で否認する

であろう」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「地上で主を告白」することと、「天父の前で告白」することは、同じであることを示されました。

⇒但し、33節で、「しかしだれでも人の前でわたしを否定する者を、わたしも天の父上の前で否認するであろう」と、否定形で問いかけておられます。

⇒32節で、「**それだから**」と、「塚本訳 マタイ 10:29 雀は二羽一アサリオン(三十円)で売っているではないか。しかしその一羽でも、あなた達の父上のお許しなしには地に落ちないのである。

30 ことにあなた達は、髪の毛までも一本一本数えられている」を受けて、天の父の前での告白と地上で「**神の御子イエス・キリスト様**」の前での告白が同じであり、同じ信仰告白を共有している仲間(信仰告白共同体・教会)であることが重要で、一般に価値なきものとされているものを最高の価値あるものとされる**神**と「**御子イエス・キリスト様**」の恵みが示されています。

⇒「**天の父なる神**」を「**御子イエス・キリスト様**」は、地上で顕現されたのは、ご自身を**神の唯一人の御子**として示し、人となられた目的が、十字架の贖いによって、すべての人が罪からの救いを得るためです。

⇒ヨハネ3:16～17;「**塚本 記** そのゆえは、**神はその独り子を賜ったほどにこの世を愛されたのである。これはその独り子を信ずる者が一人も滅びず、永遠の命を持つことができるためである。**

17 神は世を罰するためにその子を世に遣わされたのではなく、子によって世を救うためである。」とある通りです。

⇒救い主や罪からの救いを知らずに、無知な行動をするためには、主は忍耐して待って下さいますが、救い主と 罪からの救いを知りながら、主を否み続ける時、その人の人生の終わりに「**その罪の判定**」を下されるのです。

⇒主は、積極的に「**罪の判断**」をされませんが、最初の父祖アダムが、**神のみことば**を自分勝手に解釈して、エデンの園から追放された罪の責任は、生れながら担っています。

結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。

◇本日の**マタイ10:23～33**は、先週の**マタイ10:26～31**の続きで、「**天の父は、わが父**」で、新共同訳のタイトルにしている「**イエスの仲間であると言ひ表す**」と語られている箇所です。

⇒**使徒(弟子)たち**は、「**天の父なる神の仲間**」で、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**天の父なる神**」を信頼されると同じ信頼をもって弟子たちを福音宣教の仲間と認めておられるということです。

⇒「**地上の仲間**」(**神の教会**)は、「**天においても仲間**」(**神の国の民**)です。主の宣教命令を**使徒マタイ**は、世界宣教(**マタイ28:19、20**)と受けとめて**マタイ福音書**を認めているのです。

⇒相互信頼は、「**神礼拝の心**」の共有からです。
⇒「新改訳2017;エペ 4:4~6 あなたがたが召された、その召しの望みが一つであったのと同じように、からだは一つ、御霊は一つです(4)。主はひとり、信仰は一つ、バプテスマは一つです(5)。すべてのものの上であり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父である神はただひとりです。」